

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	健康推進課(健康推進担当)			
事務事業名	結核予防及び各種予防接種経費		事業番号	91
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分
				☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-1 健康づくりの推進
	施策目標	市民誰もが心身ともに健康な生活を送るまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民
	対象者の今後の予想	定期接種の項目が増えており、増加すると思われる
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	BCGや麻しん風しんなどワクチンを接種することにより、病気に対する免疫を持ち、病気の重症化やまん延を防ぐことを目的に市内医療機関の協力を得て実施している。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	ワクチンを接種することにより、病気の重症化を防ぐことができ、保護者等にワクチンの重要性をわかりやすく説明し、接種率の向上に取り組む。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	二種混合接種率	76.4%	72.0%	68.8%	82.3%	67.4%	67.1%	100.0%	100.0%
2	四種混合接種率	92.5%	98.5%	92.4%	108.1%	100.0%	105.0%	100.0%	100.0%
3	BCG接種率	97.5%	102.2%	99.2%	121.1%	100.0%	101.0%	100.0%	100.0%
4	麻しん風しん接種率	93.1%	90.9%	100.0%	102.7%	93.8%	105.4%	100.0%	100.0%
事業費（＝下記内訳計）				R5予算		R5決算		R6予算	
				52,765		35,127		40,009	
内 訳	国道支出金			393		251		289	
	地方債								
	その他			232		232		232	
	一般財源			52,140		34,644		39,488	
人員(人工)				0.50		0.50		0.50	
職員人件費（＝人員(人工)× 7,455 千円）				3,727		3,727		3,727	
総事業費（＝事業費＋職員人件費）				56,492		38,854		43,736	
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）				842		579			
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）				538		370			
単位コスト実績値 3（＝総事業費÷成果実績値）				559		385			
単位コスト実績値 4（＝総事業費÷成果実績値）				536		369			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	厚生労働省の定期接種に定められた予防接種に基づき、見直し・改善を行っている。
今後の動向・市民ニーズなど	厚生労働省の定期接種に定められた予防接種に基づき、今後も新たな予防接種が追加される可能性がある。令和元年度より、大人の風しんが定期接種として追加された。(期間:令和6年度まで、対象:昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性)令和2年10月より、小児のロタウイルスが定期接種として追加。令和5年4月より、子宮頸がんワクチン(9価)が定期接種として追加。令和6年4月より、新型コロナワクチンが定期接種として追加。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
	結核等伝染性の病気のまん延を防いでいることから、有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☒ 一部可能 ☐ 不可能
	現在も予防接種については、市内医療機関と連携して行っている。国で定められている予防接種であり、市が積極的に係ることが必要。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☒ ある ☐ 一部ある ☐ ない
	厚生労働省の定期接種に定められた予防接種が追加されることに見直しを図る必要がある。 ・令和元年度より、大人の風しんが定期接種化(期間:令和6年度まで、対象:昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性) ・令和2年10月より、小児のロタウイルス定期接種化 ・令和5年4月より、子宮頸がんワクチン(9価)定期接種化 ・令和6年4月より、新型コロナワクチン定期接種化
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない
	厚生労働省の定期接種に定められた予防接種に基づき、市内医療機関に委託し実施している状況である。現在も市内医療機関の協力を得て予防接種を実施していることから、単位コストを工夫することは難しい。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない
	統合の可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☒ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☐ 既に負担がある
	高齢者のインフルエンザ、新型コロナワクチン及び高齢者肺炎球菌予防接種は、国に定められている予防接種ではあるが、一部本人負担がある。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和6年9月

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	健康推進課(健康推進担当)			
事務事業名	結核予防及び各種予防接種経費		事業番号	91
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-1 健康づくりの推進
	施策目標	市民誰もが心身ともに健康な生活を送るまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民
	対象者の今後の予想	定期接種の項目が増えており、増加すると思われる
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	BCGや麻しん風しんなどワクチンを接種することにより、病気に対する免疫を持ち、病気の重症化やまん延を防ぐことを目的に市内医療機関の協力を得て実施している	
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	ワクチンを接種することにより、病気の重症化を防ぐことができ、保護者等にワクチンの重要性をわかりやすく説明し、接種率の向上に取り組む。	

3 事務事業の現状

活動指標名			計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
				R1	R2	R3	R4	R5		
1	二種混合接種率		76.4%	72.0%	68.8%	82.3%	67.4%	67.1%	100.0%	100.0%
2	四種混合接種率		92.5%	98.5%	92.4%	108.1%	100.0%	105.0%	100.0%	100.0%
3	BCG接種率		97.5%	102.2%	99.2%	121.1%	100.0%	101.0%	100.0%	100.0%
4	麻しん風しん接種率		93.1%	90.9%	100.0%	102.7%	93.8%	105.4%	100.0%	100.0%
事業費（＝下記内訳計）					R5予算		R5決算		R6予算	
					8,151		13,734		6,870	
内訳	国庫支出金									
	地方債									
	その他				8,085		13,734		6,870	
	一般財源				66		0		0	
人員(人工)					0.50		0.50		0.50	
職員人件費（＝人員(人工)× 7,455 千円）					3,727		3,727		3,727	
総事業費（＝事業費＋職員人件費）					11,878		17,461		10,597	
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）					177		260			
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）					113		166			
単位コスト実績値 3（＝総事業費÷成果実績値）					118		173			
単位コスト実績値 4（＝総事業費÷成果実績値）					113		166			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	厚生労働省の定期接種に定められた予防接種に基づき、見直し・改善を行っている。
今後の動向・市民ニーズなど	厚生労働省の定期接種に定められた予防接種に基づき、今後も新たな予防接種が追加される可能性がある。令和元年度より、大人の風しんが定期接種として追加された。(期間:令和6年度まで、対象:昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ男性)令和2年10月より、小児のロタウイルスが定期接種として追加。令和5年4月より、子宮頸がんワクチン(9価)が定期接種として追加。令和6年4月より、新型コロナワクチンが定期接種として追加。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない 結核等伝染性の病気のまん延を防いでいることから、有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☒ 一部可能 ☐ 不可能 現在も予防接種については、市内医療機関と連携して行っている。国で定められている予防接種であり、市が積極的に係ることが必要。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☒ ある ☐ 一部ある ☐ ない 厚生労働省の定期接種に定められた予防接種が追加されることに見直しを図る必要がある。 ・令和元年度より、大人の風しんが定期接種化(期間:令和6年度まで、対象:昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ男性) ・令和2年10月より、小児のロタウイルス定期接種化 ・令和5年4月より、子宮頸がんワクチン(9価)定期接種化 ・令和6年4月より、新型コロナワクチン定期接種化
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 厚生労働省の定期接種に定められた予防接種に基づき、市内医療機関に委託し実施している状況である。現在も市内医療機関の協力を得て予防接種を実施していることから、単位コストを工夫することは難しい。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 統合の可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☒ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☐ 既に負担がある 高齢者のインフルエンザ、新型コロナワクチン及び高齢者肺炎球菌予防接種は、国に定められている予防接種ではあるが、一部署本人負担がある。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

令和6年9月

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)		健康推進課(健康推進担当)			
事務事業名		保健事業費		事業番号	92
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分	☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-1 健康づくりの推進
	施策目標	市民誰もが心身ともに健康な生活を送るまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民
	対象者の今後の予想	増加
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	がん検診、肝炎ウイルス検診、特定健診、歯周病疾患検診、骨粗鬆症検診等に係る経費	
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	疾病の早期発見、早期治療を推進し、健康寿命を目指す。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	がん検診受診率 胃がん	6.9%	5.6%	5.6%	2.7%	4.1%	4.0%	30.0%	40.0%
2	がん検診受診率 肺がん	8.0%	3.8%	3.1%	3.2%	3.7%	3.4%	30.0%	40.0%
3	がん検診受診率 大腸がん	7.5%	4.3%	3.8%	2.8%	4.2%	4.0%	30.0%	40.0%
4	がん検診受診率 子宮がん	20.1%	13.1%	11.8%	7.2%	7.5%	11.1%	40.0%	50.0%
5	がん検診受診率 乳がん	16.2%	10.8%	8.8%	3.3%	3.2%	6.9%	40.0%	50.0%
事業費（＝下記内訳計）				R5予算		R5決算		R6予算	
				17,690		14,306		16,512	
内 訳	国道支出金				942		671		942
	地方債								
	その他				563		440		563
	一般財源				16,185		13,195		15,007
人員(人工)					2.00		2.00		2.00
職員人件費（＝人員(人工)× 7,455 千円）					14,910		14,910		14,910
総事業費（＝事業費＋職員人件費）					32,600		29,216		31,422
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）					8,150		7,304		
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）					9,588		8,593		
単位コスト実績値 3（＝総事業費÷成果実績値）					8,150		7,304		
単位コスト実績値 4（＝総事業費÷成果実績値）					2,937		2,632		
単位コスト実績値 5（＝総事業費÷成果実績値）					4,725		4,234		

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	各健診(検診)の受診率向上を図るため、イベントや市内スーパー等へのPRチラシの配布等を行っている。平成29年度より、乳がん検診及び子宮がん検診の受診機会拡大のため、レディース検診を実施。また、各健診(検診)について、受診しやすい環境づくりのため、健診(検診)会場を令和7年度より新庁舎へ変更予定。
今後の動向・市民ニーズなど	平日に仕事等で病院等で健診が受けられない方も受けられるよう引き続き、土日での受診機会を設ける。また、令和元年度は歯周疾患検診の受診率向上のため、助成対象者に個別に通知を送付するなど、周知徹底に努めた。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	☐ 結びついている ☒ 一部結びついている ☐ 結びついていない レディース検診の実施により新規受診者の獲得につながっており、定期的を受診する方も含め、市民の健康に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☒ 一部可能 ☐ 不可能 現在も釧路がん検診センター等の協力を得て実施している。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 令和7年度から第2期健康増進計画がスタートすることから、健康寿命を延ばし、各健診(検診)を市民が積極的に受診することが必要である。まずは、受診率向上を図り、健康意識を高める取り組みが必要。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 受診率向上を図るため、自己負担ではあるが集団健診の健診項目に前立腺がん(PSA)検査を平成28年度から導入した。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 事業内容が健診(検診)であることから、他の事業との統合の可能性はない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 現在も健診(検診)項目によっては、一部負担金又は全額負担の健診(検診)もある。今後も健診(検診)の充実を図るうえで、受益者の負担がでる可能性はある。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☐ 現状のまま継続 ☒ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☒ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和6年9月

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【令和5年度】

主管課名(担当名)	健康推進課(健康推進担当)			
事務事業名	公衆浴場支援対策事業		事業番号	12418
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分 ☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	1-1 健康づくりの推進
	施策目標	市民誰もが心身ともに健康な生活を送るまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	北海道公衆浴場業生活衛生同業組合根室支部及び市民
	対象者の今後の予想	横ばい
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	北海道公衆浴場業生活衛生同業組合根室支部に対する補助。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	市内公衆浴場の経営安定化による確保を図ることで、市民の公衆浴場利用機会の確保、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与する。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H30)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			R1	R2	R3	R4	R5		
1	市内公衆浴場数	3件	3件	3件	2件	2件	2件	3件	3件
2									
3									
4									
事業費(＝下記内訳計)				R5予算		R5決算		R6予算	
				5,880		6,068		6,256	
内 訳	国道支出金								
	地方債								
	その他			5,880		6,068		6,256	
	一般財源			0		0		0	
人員(人工)				0.08		0.08		0.08	
職員人件費(＝人員(人工)× 7,455 千円)				596		596		596	
総事業費(＝事業費＋職員人件費)				6,476		6,664		6,852	
単位コスト実績値 1(＝総事業費÷成果実績値)				3,238		3,332			
単位コスト実績値 2(＝総事業費÷成果実績値)									
単位コスト実績値 3(＝総事業費÷成果実績値)									
単位コスト実績値 4(＝総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☐ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☒ 検討していない
見直しの内容など	平成29年度開始した光湯廃止に伴う循環バス事業について、令和元年度より利用人数を考慮しバス1台からジャンボタクシー2台に変更し、経費の削減を図った。
今後の動向・市民ニーズなど	家族風呂のない世帯や、災害時における市民への入浴提供等のニーズがある。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	市内公衆浴場の経営安定化による確保を図ることで、市民の公衆浴場利用機会の確保、もって公衆衛生の向上及び増進に寄与しており有効に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 「公衆浴場の確保のための特別措置に関する法律」第3条において、「地方公共団体は、公衆浴場の経営の安定を図る等必要な措置を講ずることにより、住民の公衆浴場の利用の機会の確保に努めなければならない。」とされている。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 最盛期には12軒が営業していたが公衆浴場も、家族風呂の普及などの理由から、年々減少し、現在は2軒(みなと湯、寶湯)となっており、今後変化があった際には対応する必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 事業内容を確認し、無駄や不足のないよう努める。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 統合する可能性は今のところない。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☒ ない ☐ 既に負担がある 負担をいただく可能性は今のところない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (R 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	--

作成年月日

令和6年8月